

月刊 天真

発行日 2014(平成26)年9月1日
 発行者 浄土真宗本願寺派天真寺
 第450号



お寺で楽しい夏!! お勉強に落語、盛り上がった子ども夏まつり

みんなで夏休みの宿題をやろうは8月2日(土)午後2時から始まりました。夏休みの宿題は早くやらなければと思いつつ8月の終わりになってしまうのは今も昔も変わらないのが現実です。そんな宿題も友達と一緒に、お寺で先生二人をお迎えして3時間、休憩は学校の時間割と一緒に1時間目修了後は暑さ解消の為、かき氷をいただき、2時間目、修了後の休憩には流しソーメンを楽しめると宿題もどんどん進むかと思いきやそうは問屋がおろさない。それでも楽しい思い出になればとスタッフは準備万全。一人100gと思いきや足りないほど食べていただき、宿題を片付けて第二部の親子落語、第3回を迎えました。今年は昨年までラジカセのお囃子係の日暮亭雅吉さん(小学生)も演目「つる」、続いて日暮亭白雪さん(父)の「家見舞」、そして日暮亭健吉さん(中学生)は

今年度全国こども落語大会審査員特別賞を頂いた演目「長短」は話かた、間合い、手の仕草など会場から絶賛の拍手をいただきました。一年ぶりに聞いて、また来年を楽しみにしています。



第6回子ども夏まつりは3日(日)午後2時から始まりました。毎年おなじみの市川市ボランティアによるマジックショーから今年度初登場の子供高野和太鼓の実演&こども和太鼓体験そして盆踊りを婦人会(今年は粋なハッピーで登場)の皆様を手本に間違いながら一生懸命、踊りも楽しみました。そしてヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、ドライアイスで楽しみながらのシャーベット作りも子供たちに大人気でした。(→2面に続く)

2014年 9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 13:30踊り教室	3	4	5	6 10:00 納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ
7 7:00日曜礼拝 AM農園作業	8	9	10 12:30ヨガ教室 13:30れんげ会	11	12	13 10:00 あんのん堂合同参拝 (京都・大谷本願内)
14 7:00日曜礼拝 AM農園作業	15	16 13:30踊り教室	17 10:00 クリスタルヨガ	18	19	20 13:30グランドゴルフ
21 7:00日曜礼拝 AM農園作業	22 【講師】 梶原佑倅師 (北海道)	23 10:00 やすらぎ堂合同参拝 13:30 秋彼岸法要	24 12:30ヨガ教室	25 9:00 テラ ボラン寺 (寺報発送)	26	27 15:00壮年会 「やさしい真宗講座」 講読
28 7:00日曜礼拝 AM農園作業 15:00雅楽教室	29	30				

<来月の予定> 20日 定例法話会
 講師：牧野悠水師(兵庫県)

天ちゃんの一言

☆8月14・15日と二日にわたり、午前「新盆法要」、午後「盂蘭盆会法要」と四座が無事に盛大且つ厳粛につとまりました。14日は午後からの雨、15日は厳しい暑さとなりましたが、多くの方々がお参り下さいました。法要後のかき氷も大人気で行列ができるほどでした。法要を運営して下さいました各会役員の皆さまには、心より御礼申し上げます。ありがとうございました、感謝!また今夏、天真寺を彩った25種類の花々の写真展覧会も開かれました。カメラマンは門信徒会の大西さんです。秋彼岸法要まで展示しますので、是非ご覧下さい。合掌



門信徒会 入会案内

一緒に浄土真宗のみ教を聴きましょう。入会随時受付
 毎月、寺報と仏教冊子を配布。年会費：一戸3000円



☆今月のふれあい農園ニュース☆
 蓮の時期が終了。色とりどりの美しい花が咲きました。来夏も楽しみです♪

天真寺

浄土真宗
 本願寺派
 〒270-2251
 千葉県松戸市金ヶ作106番地
 TEL 047-389-0808
 FAX 047-389-0809

www.tenshin.or.jp



秋の彼岸法要

【日時】9月23日(秋分の日)

午後1:30 「秋の彼岸法要」(受付1:00)

かじ はら ゆう こう

【講師】梶原 佑 倅 師

昭和16年12月7日生、北海道函館市生まれ
本願寺派布教使、高岡教区光園寺衆徒

学生時代より曹洞宗に傾倒していたが、20才のご子息の死をご縁として親鸞聖人のみ教えに救われ、浄土真宗に帰す。著書『禅から念仏へ』(百華苑)

午前10:00 やすらぎ堂合同参拝
大町やすらぎパーク内にて、参拝自由です

「お彼岸の中日」が9月23日の秋分の日です。「彼岸」とはお浄土をあらわす仏教語です。私たちの住む「此岸(しがん)」から、阿弥陀さまの極楽浄土「彼岸」へ到る道を聞かせていただくことが本来の意味です。いつ終わるとも分からないいのちを生きている私たちです。ぜひお寺にお参りし、いのちの行末を聞かせていただきましょう。彼岸までの道をお念仏申しおかげさまと送りたいものです。「仏法は聴聞にきわまる」、蓮如上人のお言葉です。

バス無料送迎便

どうぞお気軽にご利用下さい!




新京成バスです!

- 12:00 JR北小金駅南口 SATY前五大ホーム
- 12:15 マツエツ小金原店駐車場
- 12:20 栗ヶ沢公園前ファミリーマート
- 12:40 天真寺
- 13:00 新京成線八柱駅南口 メガネスーパー前
- 13:10 新京成線常盤平北口 2番バス停
- 13:20 天真寺

※法要後、帰りの便もあります

お参り下さい みんなの日曜礼拝

第25回みんなの日曜礼拝のおつとめは、ご和讃「宝林宝樹微妙音」から六首  ごと文章「経釈明文章」でした。ご法話は、ご和讃の繰り読みの中でおつとめした「清風宝樹ふくときは いくつかの音声 いたしつ 宮 商 和して自然なり 清浄 勲を礼すべし」からのお話でした。いくつかの音声とは、「宮・商・角・徴・羽」という中国音楽の音階で、声明や雅楽で使われます。西洋音楽の音階でいうと、宮はほぼド、商はほぼレにあたります。ドとレは一般に不協和音といわれ、あまり心地よい和音ではありません。ところが、お浄土ではその宮と商は調和しているのです。宮と商だけではありません。調和していないものがないのがお浄土です。そんなお浄土の様子を聞かせていただいて、私のあり様を知らされます。あれが好き、これは苦手と自分の都合ばかりの毎日です。そこに阿弥陀さまのお慈悲がそそがれていて、お念仏の声となって包み込んでくださっています。記:名種木乃実(天真寺壮年会講師、ホームページ「天真寺通信」掲載分)


【日曜礼拝】 毎週日曜朝7時 参拝自由

毎週日曜朝7時から日曜礼拝がつとめられます。毎月第一週目は、僧籍をもつ方、仏道を志す方、門信徒の方に調声していただく参加型の「みんなの日曜礼拝」です。



天真寺 天ちゃん募金

「できる人が、できることを」をモットーに続けてきたお寺のボランティア活動。これまでもカンボジアの子ども支援や、貧困や戦争で苦しむ国々への募金活動などを行っています。皆様のあたたかいお気持ちをお寄せ下さい。

[郵便振替]00270-5-82663
[加入者名]天ちゃん募金 

(→1面からの続き)
いよいよ食事タイム、婦人会の皆様自慢のカレーライス、ソーセージ焼きに缶ビールやドリンクを前に食前の言葉、和気あいあいの楽しいひと時、そして流しソーメンの始まり。壮年会の手作り竹の長さは7m、両側には子供たちで満員の盛況、お父様、お母様のカメラマン、スタッフもソーメン釜茹で冷やして流し方へと大忙し、子供たちはいつまでも楽しんでます。



幸せに満ちた夫婦二人の帰敬式



昨年初秋に夫婦で、京都西本願寺にて帰敬式(おかみそり)を受式しました。

私は昭和6年兵庫県赤穂郡矢野村(現在の相生市)に兼業農家の次男として生を受け、地元の造船会社に設計技術者として勤務いたしました。その後東京の本社に転勤のため松戸市に移り住み35年。ご縁あって天真寺門信徒会に入会させて頂き、妻も同郷姫路市出身です。私の実家は先祖代々浄土真宗本願寺派で、俗にお西といわれ地元では一向宗とよんで一向にかまわずとも言っています。墓は自宅と京都大谷本廟・無量寿堂の分骨です。仏壇に位牌はなく和紙に書かれた法名が置かれ仏事にはそれを開いて法要しているのを記憶しています。

門信徒会でご法話を聴聞しているうちに、最近法名について関心を持つようになりました。それは他宗の戒名は厳しい修行をした人に与えられる名前ですが、わが宗の法名は戒律を守ることのできない私たちを阿弥陀さまが救ってくだされ浄土へ往生させて頂けることを知ったからです。



現在夫婦とも健康な間に帰敬式を受式したいと思立ち、帰省時を利用して昨年8月31日京都西本願寺に赴き、龍虎澱での受付の後、格式

大人の方にも食べていただこうと打ち上げ花火の始まりをアナウンス、打ち上げ花火に拍手喝采、最後は手持ち花火をたくさん楽しんでいただき7時を過ぎに終了、帰りには門信徒さんによるガス風船などお土産をいただいて無事終了することが出来ました。10月にはさつまいも掘りや手造りの石窯でピザ作り体験を楽しんで頂きたいと予定しています。ご期待ください。

門信徒会・壮年会・婦人会 応援スタッフ一同

高い荘厳な御影堂親鸞聖人の御真影前外陣で受式者10名でリハーサル後、第24代即如門主さまより三帰依文を唱え、おかみそりを受け、法名が渡され、代表者による帰敬文拝読、ご導師による有難いお言葉を頂き感激の中一生に一度の大儀式を終え安堵、ホッとするとともに心の安らぎを覚えました。

その後別室で担当僧侶より法名、記念のお念珠、式章を頂き無事式を終えました。今まで味わったことのない幸せに満ちたひと時で、今後は親鸞さまのみ教えを心のよりどころとして、お念仏をとらえつつ、お浄土への道をとともに歩かせて頂く毎日でありたいと思っております。

合掌

(寺本 剛さん)



「帰敬式」とは…



阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮を送ることを誓う、私たちにとって最も大切な儀式です。この帰敬式を受式され、仏弟子となった方には本願寺住職(ご門主さま)より法名が授与されます。帰敬式を受式し、共にお念仏を喜ぶ人生を歩みましょう。希望される方は、どうぞお寺までお気軽にご相談下さい。築地本願寺でも受式可能です。